

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 12 月 19 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2024 年 12 月 17 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	サンフランシスコ州立大学(日本語名) San Francisco State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2024 年 8 月～2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:コミュニケーションスタディ 現地言語での名称:Communication studies ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月中旬～12 月中旬 2 学期: ～ 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	27000
創立年	1899 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USドル)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	8055	1,240,000 円	
食費	2400	360,000 円	15meals/week
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	150	22,500 円	Mint mobile
現地交通費	0	0 円	所属大学の学生はサンフランシスコ内の公共交通機関の利用は無料(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1299	200,000 円	形態:明治大学と留学先大学の保険料の合計
渡航旅費	1234	190,000 円	
ビザ申請費	300	45,000 円	
雑費	0	0 円	
その他		円	
その他		円	
合計	13,438	2,057,500 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田空港 目的地:サンフランシスコ国際空港 経由地:

復路 出発地:サンフランシスコ国際空港 目的地:成田空港 経由地:

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:Trip.com 料金:85,000

復路 航空会社:Trip.com 料金:105,000 ∴合計:190,000

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)

☒ インターネット(サイト名:Trip.com)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前:Village) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学側からの指定

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

個室になるか 2 人部屋になるかは運なので、個室の第 1 希望に出してあとは祈ることしかできません。個室になるとその分寮に払う費用は多少増えますが、完全なプライベートがない状態で何ヶ月も生活するのは大変ですし、言語や文化が違えば余計生活しづらいと思います。毎日のように朝方に帰ってきて許可なく異性を連れ込んだり、一日中部屋でゲームをしていてうるさくてリラックスできないという話も聞いたので、基本的には 1 人部屋を強くおすすめします。また、シャワーを朝浴びるタイプの人が多いので部屋の匂いがきつかったり、元からの体臭が強い、いびきがすごいなど色々な話がありました。男女関係なく、1 人部屋が良かったと言う人しか見たことがないです。あまりにもルームメイトの行動が目につく場合は相談して部屋の移動も可能なかもしれませんが、私のルームメイトは変えたいと言いつつできていなかったもので期待しない方が良いでしょう。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

ダウタウンは危ないと聞いていましたが大麻の匂いがして、ホームレスが多くいるぐらいでした。銃声もそんなに聞くこともなく、生活圏内では安全でした。しかし、自分を守る能力や周りに助けを求めたり、その場を収めるだけの英語力はあった方が良いでしょう。日中や人通りの多い場所を除いて女の子は1人で行動しないでほしいと思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ほとんど困ることはなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

カードしか使っていない。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特になし。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった:フルオンライン科目は一科目まで	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
CINE 102 [01] - Introduction to Contemporary Cinema	現代映画入門
科目設置学部・研究科	Cinema
履修期間	Fall 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回
担当教授	Clayton Dillard
授業内容	毎週映画を視聴し、それに対する講義を受け、文献を読む。映画と講義の時間が合わせて 150 分ほどが平均。
試験・課題等	毎週課題がある
感想を自由記入	映画の鑑賞の仕方の次第で映画から学べるが多くあると気づけた授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
ENVS 130 [01] - Environmental Studies		環境学
科目設置学部・研究科	Environmental Studies	
履修期間	Fall 2024	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	David Herrera	
授業内容	2, 3 週で 1 つの環境分野を取り扱う	
試験・課題等	毎週課題がある。中間テストと最終レポートもある。	
感想を自由記入	環境の分野でしか使われないような単語も多くあったが、環境問題に対する思考を身につけられる良い授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
ENG 210 [03] - Oral Communication - Multilingual		マルチリンガル向けの口語英語
科目設置学部・研究科	English	
履修期間	Fall 2024	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Kirsten Hilbert	
授業内容	学期中に実施する 3 回のプレゼンテーションに対して段階を踏んで学習していく。	
試験・課題等	毎週課題がある	
感想を自由記入	実践的でとても面白い授業でした。プレゼンテーションの準備をする過程でその内容についても深く学べて良かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
COMM 250 [02] - Introduction to Group Discussion and Teamwork		グループディスカッション、チームワーク入門
科目設置学部・研究科	Communication studies	
履修期間	Fall 2024	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ハイブリッド(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Ashmi Desai	
授業内容	グループディスカッション	
試験・課題等	毎週課題がある	
感想を自由記入	チームワークとは何かを実践的に学ぶことのできる授業でした。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☒進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	IELTS 受験、申し込み
留学開始年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	出国
	10 月 ~ 12 月	帰国
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は GPA と必要な語学要件を踏まえてヨーク大学、サンフランシスコ州立大学、ニューヨーク市立大学ステテンアイランド校に希望留学先を絞りました。ヨーク大学が第 1 希望でしたが、国際日本学部で強くおすすめされている留学先だったようで倍率が高く叶いませんでした。ただ、留学先の希望は横並びで、どこの大学も心から行きたいと思う場所だったので大きな問題ではありませんでした。

私の留学の目的はここ数年の目標であった中長期留学で現地の大学生生活を体験し、そこでの生活を通して将来について改めて向き合うというものでした。多くの刺激が欲しかったので前述したように、その国の主要都市に絞り応募しました。中長期留学で大切なのは一貫性だと思います。私はコロナウイルスの影響もあり、大学生になるまで海外に行ったことはありませんでした。しかし、インターネットでは海外にでることで価値観が変わったという発信をよく目にし、その考えには懐疑的でした。自分が海外で過ごした経験がないからそう思うのか、それともその意見が正しいのか。これらを明らかにするためにフィリピンのマニラに 1 ヶ月半、ニュージーランドのオークランドとオーストラリアのシドニーに 1 ヶ月半、そして今回の留学でアメリカのサンフランシスコに 4 カ月過ごしました。結論は海外に行くことで価値観が変わるということはありません。多くの人が海外に行くことで価値観が変わり、ワーキングホリデーを利用し海外に行けばお金が稼げるという話は大きな間違いです。

では、なぜ価値観が変わったという発信をする人がいて、ワーキングホリデーお金を稼げている人がいるのか。それは、その人たちの考えと行動に一貫性があるからです。そういう人の多くは日本にいたとしても、そういった経験をしたり、お金を稼ぐ潜在能力があり、それを呼び起こすきっかけが海外に行くことだっただけです。なので、留学や海外での生活の輝いて見える部分でだけを見て、安易に留学に来ると痛い目を見ます。大抵の場合、失敗した人は自分の失敗談をわざわざインターネットで発信しません。

一貫性とは何か、それは目標を掲げ、それを達成するためだけに身も心も捧げる能力のことです。目標を立て、それに向かって進む前に一度立ち止まり、その目標が自分の時間、体力、精神、人生を賭ける価値があるのか、今の環境ではできないことなのか考えてみてください。留学にはお金がかかりますし、とても学生一人の経済力で決断できることはありません。深く考えたうえで、自分が留学が終わったときにどうなっていたいのか、はっきりとしたイメージを持っていないようでは、無駄な時間を過ごすことになってしまうかもしれません。

私は海外に行くことで価値観が変わることはないと言いましたが、正しくは、日本でも価値観を変えられるが、海外に行くことで変わるかもしれないです。あくまで海外に行くことは価値観を変えるのではなく、環境を変え、自分が変わりやすくするための機会でしかありません。つまり、海外に行くことが全てではないということです。この文章を読まれているということは、少なからず留学や海外に興味がある方だと思います。なかには経済的状況で行くことが難しい方もいるかもしれません。しかし、私が述べたように日本にいながらでも自分を変えることはできます。言語や文化に触れたいのならば、そういったコミュニティをインターネット簡単に探せますし、学びたい分野があるのであれば、留学先にあるような分野は大抵日本語でも深く学べますし、専門用語に苦しめられることもありません。それでも、海外を目指すのであれば、そこにはたくさんの発見や友人、素敵な経験が待っているかもしれません。

どこにいるかはそれほど重要ではないです。どのような覚悟を持って、どういった行動を起こすかです。生きていて大変なことは多々ありますが、目標に向かって一生懸命に努力していれば誰かしらがそれを見ていてくれます。結果が出るのが 1 週間後かもしれないし、10 年後かもしれない。もしかしたら結果として結びつかないかもしれない。何かに向かって努力をするときにはそういった悩みが常につきまとうと思いますが、何をするにしても今後の人生で無駄になることは 1 つとしてないです。今後、留学を志す方が実りのある人生になることを心から願っています。